

## 文化関係の取組について

事業名	事業概要	取組状況(9月末現在)
<p>ふくしまから はじめよう。「地域のたから」伝統芸能承継事業</p>	<p>震災により被災した民俗芸能等に発表する機会を提供することにより、担い手の意欲を高め、存続の危機にある民俗芸能の継承・発展を図る。また、地域の象徴ともいべき民俗芸能の復活に向け、総合的な支援を行うことにより、ふるさとへの誇りや愛着心を喚起し、今後の発展に向けた環境整備を図る。</p>	<p>1. 「ふるさとの祭り」 10/31、11/1南相馬市で開催 別添「チラシ」のとおり</p> <p>2. 「伝統芸能復興サポート事業」 地区説明会2回開催 (平成27年分 計12回開催予定)</p>
<p>チャレンジふくしまパフォーミング アーツプロジェクト</p>	<p>劇作家、音楽家等の支援を得ながら、県内の中学・高校生が中心となり、舞台芸術の創作・公演を行い、人々に元気や希望を与えることの素晴らしさを知り、達成感を得ることで、「明日のふくしま」を創造する力を育む。また、映像化することで新しいふくしまの姿を発信する。</p>	<p>1. 練習 13回開催 (平成28年3月 公演予定)</p>

# ふるさとの祭り

## イベント会場レイアウト図



### 伝統芸能の体験コーナー

太鼓をたたいたり、お面を触ったり、祭りを肌で感じよう!

キビタン号

ステージ

メイン  
ステージ

観覧席

横断ゾーン

事務局

案内所

### 伝統工芸の創作体験・販売・PRコーナー

福島の伝統工芸品の創作に挑戦してみよう。  
大堰相馬焼の窯元直売も。  
お土産にぜひ!

### ふるさとの祭りステージ ご当地キャラステージ

福島の人と地域をつないできた各地の伝統芸能を一挙披露。ゆっくりとご覧ください。  
山形から花笠踊りも応援参加!  
チームキビタンや福島のかわいいキャラクター達の登場もお楽しみに!



### JAまつりステージ

バラエティーショーや「くじ入り投げもち」等のおたのしみイベントが目白押し。

### JAまつりゾーン

「軽トラ市」や「かあちゃん食堂」など、食のイベント盛りだくさん。キッズコーナーやアルパカ動物園もあるよ。

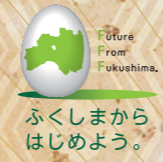
### 交通アクセス



**お車で  
お越しの方** 常磐自動車道南相馬I.Cから約10分(4.7km)  
南相馬ジャスモール駐車場を御利用ください。  
混雑の場合は、誘導員の指示に従っていただきますようお願いいたします。



**電車でお越しの方** JR常磐線原ノ町駅から徒歩約30分(2.4km)



ふくしまからはじめよう。

# ふるさとの祭り

## 南相馬 2015

平成27年  
10月31日(土)・11月1日(日)  
9:30~16:00 9:30~15:00

入場無料

私がつなぐ、ふくしまの絆。

南相馬ジャスモール  
〒975-8585 南相馬市原町区大木戸字金場77

主催/福島県、ふるさとの祭り実行委員会  
後援/南相馬市、南相馬市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、日本経済新聞社福島支局、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM

お問い合わせ ふるさとの祭り実行委員会 (福島県文化振興課内) TEL.024-521-7154 [www.furusato-matsuri-fukushima.com](http://www.furusato-matsuri-fukushima.com) 福島 ふるさとの祭り 検索

## 同時開催

~おかげさまで20周年、「ありがとう」そして「未来」~

# 第19回 JAまつり

20th Anniversary

JAそうま合併20周年にふさわしく、地域の皆様とのふれあいイベント盛りだくさんです。

JAならではの「食」のイベントがてんこ盛り

- 農産物共進会
- 地場産黒毛和牛
- 軽トラ市 乳製品
- 地元高校生の農産物や6次化商品等

クラブス『チアリーディング』で元気に幕開け!

くじ入り投げもち

IGF野外プロレス

5月に南相馬で田植え復興イベントを開いてくれたイノキ・ゲム・フェレーションの男たちが、リングから元気を届けます!

ビューティーこくぶ ものまねライブ

「ジャバネットたかた」高田会長のものまねは絶品! (※11/1(日)のみ)

ふくしまからはじめよう。「地域のたから」伝統芸能継承事業

# ステージプログラム

10月31日(土) 9:30~16:00

- 9:30 開会式[JAまつりステージ]
- 10:15 ふるさとの祭りオープニング
- 10:30 大波住吉神社の三匹獅子舞  
ならびに鬼舞(福島市)
- 高田神楽(新地町)
- 北萱浜天狗舞(南相馬市)
- 柳津の大神楽(柳津町)
- 12:05 “ご当地キャラステージ”
- 13:00 花笠踊り(山形県)
- 川添の神楽(浪江町)
- 請戸の田植踊(浪江町)
- YOSAKOI(相馬市)
- 原釜の神楽(相馬市)
- 下町子供手踊(南相馬市)
- 15:10 JAまつり企画～福来たる「くじ入り投げもち」～
- 15:40 阿波おどり(福島県・山形県)

11月1日(日) 9:30~15:00

- 9:30 “福島県立原町高等学校吹奏楽部ステージ”
- 10:00 新山の神楽(双葉町)
- 比曾の三匹獅子舞(飯館村)
- 前沢女宝財踊(双葉町)
- 鹿島御子神社の大蛇神楽(南相馬市)
- 熊川稚児鹿舞(大熊町)
- 上手岡麓山神社の神楽(富岡町)
- 12:15 “ご当地キャラステージ”
- 13:00 上平子供じゃんがら(いわき市)
- 豊景神社の太々神楽(郡山市)
- 村上の田植踊(南相馬市)
- 14:10 JAまつり企画～福来たる「くじ入り投げもち」～
- 14:40 花笠踊り(山形県)
- 15:00 閉会式[JAまつりステージ]

※ 都合により、日時、出演者、演目等が変更になる場合があります。  
※ 全ての写真はイメージです。

# ふるさとの祭りステージ 出演団体

## 31日 大波住吉神社の三匹獅子舞ならびに鬼舞

福島市  
おこなみすみよしじんじやのさんびししまいならびにおにまい

獅子舞に関する文献は一切ありませんが、太鼓の胴に、天保10年張替の文字が記されているところから、それ以前から行われているものと思われます。舞は、三人の獅子と道六一人の四人で舞われ、「宮参り」をはじめ9種類の舞があります。昔、流行病があった頃に舞を行い、安全祈願を願ったものと思われています。

## 31日 川添の神楽

浪江町  
かわぞえのかぐら

明治40年頃、修行を積んだ地元の神楽の名人が村人に披露したのが始まりとされ、正月に悪魔祓いや豊年万作の祈願をしながら舞い歩く獅子神楽は、浪江町川添地区の住民に脈々と受け継がれてきた伝統芸能です。ふるさとの記憶を風化させないために活動を再開しました。

## 31日 阿波おどり

福島県・山形県  
あわおどり

今だからこそ福島県から元気を発信しようと平成25年4月に「福島阿波おどり協会」を発足しました。震災の悲しみを忘れず犠牲者のご冥福をお祈りする盆踊りとして、また人とのつながりを築き活気ある福島を取り戻すため、必要なもの一つと考え活動しています。生きている喜びをダイレクトに表現した阿波おどり。南相馬の皆様とその喜びを分かち合えるよう一生懸命踊らせていただきます。

## 1日 熊川稚児鹿舞

大熊町  
くまがわこしじまい

200年前から続くと言われてます。その昔、熊川地区が疫病や凶作に悩まされ、争い事や夫婦離別があり、どうにかしようと相談した結果、地区の守護神である諏訪神社に鹿舞を奉納しようとなり、舞を奉納したところ、地区が平穏になったと言われています。

## 31日 高田神楽

新地町  
たかたかぐら

約140年前(明治の初め頃)に相馬市の今田地区から求めたと伝えられています。岩戸神楽(厄払いの神楽)として地域に親しまれ、高田神楽として現在様々なイベントに参加しています。また、練習を通して世代を超えた交流を深めています。

## 31日 請戸の田植踊

浪江町  
うけどのたうえおどり

先人達が豊作と大漁を祈願して毎年2月、くさの神社に奉納を約300年続けてきた郷土芸能です。他の田植踊にはない南国的な明るい衣装が特徴です。大震災のため請戸地区は壊滅し、数多の犠牲者が出てしまいましたが、田植踊を復活させようと全国からの支援をいただき、平成11年8月復活を遂げ、避難をしている地区民の心と請戸を繋ぐ「かすがい」の役目を果たしています。

## 1日 新山の神楽

双葉町  
しんざんのかぐら

始まりは詳しくわかっていませんが、150年以上の歴史があるとされています。昭和50年代に一時途絶えましたが60年代に復活し、地区の伝統芸能として伝承されてきました。演目は、四方固め、鈴舞、幣束舞で構成されます。佳境に入った際の暴れ獅子、後獅子に複数の舞手が入るのが特徴です。複数の舞手が伴うスタイルは北陸地方の神楽の影響とも言われています。

## 1日 上手岡麓山神社の神楽

富岡町  
かみおかはやまじんじやのかぐら

福島県重要無形民俗文化財に指定される「上手岡麓山神社の火祭り」の舞台となっている麓山神社に伝わる神楽舞の一部をご披露します。この神楽舞は、毎年正月にその年の無病息災を願い、氏子各戸を廻り奉納されるものでしたが、奉納後に獅子頭に頭を噛んでもらう習わしは、その1年、頭痛むことが無いという信仰からのものです。

時代を超え、震災を乗り越え、福島の人と地域をつないできた伝統芸能を一挙披露！  
震災被害により継承の危機に直面しながらも復活を果たした団体を含め、各地から20団体が集結。  
山形から花笠踊りも参加。南相馬から福島県の元気を発信!!

## 31日 北萱浜天狗舞

南相馬市  
きたかいはまてんぐまい

およそ170年前(嘉永元年・1848年)に、越後から北萱浜に入植した人たちが、悪魔退散の為に天狗舞を舞ったことに由来すると伝えられています。天狗舞は、から手舞、幣束舞、天狗と獅子の剣舞の順で演じられます。剣舞では、天狗が刀を持って獅子と激しく立ち合う珍しい舞です。平成7年、市指定無形民俗文化財になりました。

## 31日 YOSAKOI

相馬市  
よさこい

静と動を使いこなす、それが演じることだと私たちは考えます。民謡という素晴らしい日本の文化を分かり易く踊るYOSAKOI。見て下さるお客様に、楽しさと笑顔をお届けできる様、心を込めて踊らせていただきます。

## 1日 比曾の三匹獅子舞

飯館村  
ひそのさんびししまい

今より約350有余年前から比曾の地に伝わったといわれ、人々が聖なる強い獅子の姿を模して神々々豊作と豊漁の祈願、疫病や怨霊など邪気を払い清めてきました。その昔、相馬藩主が御覧になり、勇壮で重厚なこの舞に感銘をうけ、以後相馬氏家紋である「九曜の紋」を付けて舞うことを許されたと伝えられ、今でも獅子頭の前垂れに染付されています。

## 1日 上平子供じゃんがら

いわき市  
うわたいらこどもじゃんがら

念仏踊りは平安時代或いは鎌倉時代に始められたとあり、じゃんがら念仏踊りは「小川江筋由緒書」に記されています。357年前の沢村勤兵衛の一周忌供養で念仏興行されたのが始まりとされ、300年前頃は田植歌風に約され、踊り遊び、明治6年に非道徳的と禁止され、明治中期に再び盛んとなるが、寺やお堂の前のみの踊りとなり、現在は盆の精霊を迎えるの回向供養として行われています。

## 31日 柳津の大神楽

柳津町  
やないづのだいしかぐら

各地に神楽を保存する団体は数多くありますが、大神楽として神楽七芸、曲芸を保存し、伝統的な門付けを行っているのは本会だけです。大神楽を知らずとも、海老一染ノ助・染太郎の傘回しを中心とした芸は、多くの方がTV等で見たことがあると思います。彼らの芸を「大神楽(曲芸)」と呼び、舞、歌、囃子、寸劇、そして曲芸とまさに民俗芸能の集大成と言える総合芸能が大神楽です。

## 31日 原釜の神楽

相馬市  
はらがまのかぐら

天正十八年の頃から、除厄招福の神事として、代々から厳格に守り伝えられてきました。原釜地域には、津神社なる守護神があり、毎年行われる例祭日を4月第3日曜日と定め神輿を海浜に遷座、山海の獲物を神前に供え、神楽を奉納する等原釜全地域挙げての祭典執行が今に続いています。

## 1日 前沢女宝財踊

双葉町  
まえざわおんなほうさいおどり

南北朝の争乱の際、霊山城から逃れた北畠氏の重臣・真野五郎元家ら12人が旅芸人に身をやつし南相馬市鹿島の江垂に落ち延びたストーリーを踊りにしたと言われています。本来、男性が踊る芸能で、子どもが伝承する団体もありますが、女性が伝承する団体は相双地区で唯一です。

## 1日 豊景神社の太々神楽

郡山市  
とよかげじんじやのだいだいかぐら

出雲流神楽に属し、古事記の神話に沿って全28演目の神楽です。天保11年(1840)の記録によると、当時は近隣の神職により行われていましたが、現在は氏子により継承され現在に至ります。

## 31日 1日 花笠踊り

山形県  
はながさおどり

花笠踊りは、農耕作業の様子を管弦で表現する芸能です。時には地を這うように低く激しく、時には天空を飛ぶように楽しく愉快に踊りまわります。踊りの中に、様々な農作業の風景を見つけてください。

## 31日 下町子供手踊

南相馬市  
しもまちこどもておどり

南相馬市鹿島区内の鹿島御子神社、男山八幡神社等で12年毎に行われるお浜下りに奉納する踊りとして伝承されています。曲目は、二遍返し、相馬流れ山など相馬地方の民謡に限らず、伊勢音頭、おぼこ、あいや節、八木節など全国に及びます。保存会は、昭和21年に発足し、お浜下りの他、各神社の例祭、遷宮祭の奉納、地域のイベントや仮設住宅の慰問等、社会貢献活動にも取り組んでいます。

## 1日 鹿島御子神社の大蛇神楽

南相馬市  
かしまこじんじやのおろちかぐら

毎年1月の第2土・日曜日に「行方鎮火祭」に悪魔を払い、無病息災を祈願するために、大正10年前後から鹿島御子神社及び各家庭を回ったストーリーを踊りにしたと言われています。本来、男性が踊る芸能で、子どもが伝承する団体もありますが、女性が伝承する団体は相双地区で唯一です。

## 1日 村上の田植踊

南相馬市  
むらかみのたうえおどり

縁起的な伝承として、地元では南北朝時代に義良親王と北畠顯家が当地に逗留した折に始まったという説があります。明治年間から中断していましたが、大正3年に再興しました。大正10年から再び中断し、昭和12年には再興しますが、戦時色が強くなってまたも中断。終戦後、昭和22年に再興しますが、村周りは昭和24年頃まで、以降は婦人会が中心となりました。

### 伝統芸能の体験コーナー

太鼓をたたいたり、お面を触ったり、祭りを肌で感じよう!

### 伝統芸能の創作体験・販売・PRコーナー

福島の伝統工芸品の創作に挑戦してみよう。大堀相馬焼の窯元直売も。お土産にぜひ!

#### 【創作体験・販売】

- 起き上がり小法師絵付け
- 白河だるま・干支の絵付け(※10/31(土)のみ)
- 須賀川絵のぼり絵付け(※11/1(日)のみ)
- 畳コースター作り

#### 【販売】

- 大堀相馬焼/半谷窯直売
- キビタン号

#### 【PR】

- 清らかな「水のふるさと」ふくしま
- あたまがふくしまちゃん

### ご当地キャラステージ

チームキビタンと一緒に体操しよう! のまたんやエコたん達も遊びに来るよ。お楽しみに!

